

様々な分野で活躍する金融教育の専門家集まり 金融教育に関する講演会と座談会

子供たちがお金や金融、経済に関する正しい知識を持ち、実り多い人生を歩む力を培うための「金融教育」が今注目を集めている。7月29日に旭川グランドホテルで開かれた「金融教育に関する講演会と座談会」では金融教育を推進する専門家が集まり、その重要性や今後の課題などについて活発な議論を行った。その様子を抜粋して紹介する。



尾家啓之氏

かねてから金融教育の必要性を訴えてきた同氏は平成18年度に行われた「子どものくらしとお金に関する調査」というアンケートの結果を踏まえ「多くの子供たちは小学校低学年からある程度のお金を持っているが無計画に使っており、お金の管理や使い方について比較的早い段階から考えさ



いちのせかつみ氏

せることが必要。また携帯電話からのウエブサイトのアクセスが一般化し、ネットショッピング、オークションへの参加も見られ、消費者トラブルに巻き込まれる可能性もあるため、利用についての留意事項は早めに教えていくことが大切」と見解を述べ、「金融教育は金融の様々な働きを理解し、それを通じて自分の暮らしや社会について深く考え、より豊かな生活やよりよい社会づくりに向けて主体的に行動できる態度を養う教育であるべき」と金融教育の在り方について述べた。

するいちのせかつみ氏の講演が行われた。いちのせ氏は家計から見た人生設計に関する第一人者で、新進気鋭のジャーナリストとして知られる。税務経理や人材育成を中心としたコンサルタントとしても活躍し、平成15年には自転車で金融教育普及のためのボランティアセミナーを行いながら日本列島を縦断した。約20年前から金融教育に取り組み、多くの提言を行ってきた。

らうために、表と裏だけ本物の1万円札で残りは新聞紙で100万円の束を作って見せても全く興味を示してくれず大変なショックを受けた。そこで次の授業で本物の100万円の束を持っていくと最初は怖々と触っていたが実際に数えさせると目の色が変わった。偽物では子供たちは実感できないので、できるだけ本物を体験してもらおうようにしている。

その後、尾家氏がコメディネーターを務め、い



斎藤正広氏



尾家啓之氏



松崎英司氏



白崎美穂氏



水谷千佳氏

この講演会は北海道金融広報委員会(事務局・日本銀行札幌支店営業課内)が主催したもの。会場には教育関係者を中心に約70名が参加した。最初に同会のメンバー

のせ氏をはじめ、北洋銀行経済調査室室長の斎藤正広氏、旭川信用金庫地域貢献室室長の松崎英司氏、日本FP協会道北支部支部長の白崎美穂氏、北海道金融広報アドバイザーの水谷千佳氏によるパネルディスカッションが行われた。

ものという観念を子供たちに理解してもらおうというもの。お金とどう付き合っていくべきなのか、体験学習を通して考えてもらおうというのがキッズアカデミーの方針。授業では50分間の「資本金を増やそうゲーム」を行い、どのように資産形成をするか子供たちに考えてもらいたい大いに盛り上がった。今年が高専とのジョインとサマースクールを企画している」と話した。

を対象にした金融教育の活動を行っている。金融教育では家族が共通の認識に立つ必要があると考え、その一歩として親子でお金について考える機会を提供。「お小遣いゲーム」は手作りのすこるくゲームで、お金には限りがあるので必要なものと欲しいものをよく考えて買う。お金のフローとストックを管理するために小遣い帳や通帳があり、その記帳の仕方が学べる仕組みになっている。金融教育では、児童、生徒の金融教育が家庭と学校と地域社会の連携が不可欠で、子供の判断力、計画性、自律心を育むことが目的。

「日々相触れを受ける中でもう少し金融リテラシーがあればこういうトラブルに合わなくて済んだというケースに出合うことがある。金融教育では段階的な教育が必要。中学校で就学体験を含むキャリア教育を行うなどすれば高校生になると具体的なライフプランを立てることもできる。現在の金融教育ではそれぞれの専門家が体系的な知識を教え、体系的な教育が行われていないのではないかと。子供たちが大人になったときに自分の人生を構築するために役立つ教育であって欲しい」と呼びかけた。

それぞれが実践する金融教育の取り組みの紹介を中心に行われ、斎藤氏は「社会貢献活動の一環として地域経済を担う人材の育成を目指し、子供たちに金融について正しい知識を身につけてもらう目的で金融教育を実施。平成16年には教育大学と教育に関する覚え書きを締結。これまでに教職員

松崎氏は旭川信用金庫が実施するキッズアカデミーについて紹介。「平成19年に子供向けの金融教育を検討し、20年4月に組織として地域貢献室を開設。昨年8月に子供向けのキッズアカデミーをスタート。学校における金融教育の支援をはじめ、お金というのは労働の対価であり働いて稼ぐ

白崎氏は金融教育活動について「協会では全国の都道府県に50の支部を設置し、有志による社会教育活動を実施。道北支部でも児童生徒や保護者

学校では学校祭のバザーなどで体験的な金融教育を行うことができると思う」と提言した。「判断する力が弱いとマルチ商法などで被害にあう危険性も高い」と警鐘を鳴らしたのが水谷氏。「日々相触れを受ける中でもう少し金融リテラシーがあればこういうトラブルに合わなくて済んだというケースに出合うことがある。金融教育では段階的な教育が必要。中学校で就学体験を含むキャリア教育を行うなどすれば高校生になると具体的なライフプランを立てることもできる。現在の金融教育ではそれぞれの専門家が体系的な知識を教え、体系的な教育が行われていないのではないかと。子供たちが大人になったときに自分の人生を構築するために役立つ教育であって欲しい」と呼びかけた。

学校では学校祭のバザーなどで体験的な金融教育を行うことができると思う」と提言した。「判断する力が弱いとマルチ商法などで被害にあう危険性も高い」と警鐘を鳴らしたのが水谷氏。「日々相触れを受ける中でもう少し金融リテラシーがあればこういうトラブルに合わなくて済んだというケースに出合うことがある。金融教育では段階的な教育が必要。中学校で就学体験を含むキャリア教育を行うなどすれば高校生になると具体的なライフプランを立てることもできる。現在の金融教育ではそれぞれの専門家が体系的な知識を教え、体系的な教育が行われていないのではないかと。子供たちが大人になったときに自分の人生を構築するために役立つ教育であって欲しい」と呼びかけた。